

CSR経営の推進

「創造 貢献」の経営理念を実現するために
「カシオ創造憲章 行動指針」に基づきCSR経営を推進しています。

CSR経営の推進

「0→1」(無から有を生む)がカシオの創業の原点です。自らの手で独創的な製品を作り、社会の進歩に役立てたい。カシオの創業者である四兄弟は、その高い志を実現するために、妥協することなく挑戦し続ける強い意志を持って、幾多の困難を乗り越えてきました。こうした創業時の厳しい経験から「創造 貢献」の経営理念が生まれました。

カシオはこの経営理念を実現し、いつの時代でも創造的な風土を維持しつつ、事業を通じた社会貢献を継続できるよう「カシオ創造憲章 行動指針」を制定すると共に、その順守に努めています。

この「カシオ創造憲章 行動指針」には、仕事に取り組む際の姿勢や意識の他に、CSRの思想が随所に盛り込まれています。従って、カシオの従業員がこの「カシオ創造憲章 行動指針」を順守することは、CSRの実践を通じて経営理念を実現することに他なりません。

これからもカシオは、「創造 貢献」の実現に向けた努力を通じて、社会から信頼される企業であり続けます。

【「カシオ創造憲章 行動指針」に込められたCSR思想】

■ 事業を通じた社会貢献	第1章 1. (1)
■ お客様に対する責任	第2章 1. (1)～(3)
■ 地球環境に対する責任	第2章 2. (1)
■ ステークホルダーに対する責任	第2章 3. (1)
■ コンプライアンスに対する責任	第3章 1. (1)～(3)

「カシオ創造憲章 行動指針」—カシオで仕事を進める全ての人の誓い—

第1章 私たちは、独創性を大切に、普遍性のある必要を創造[※]します。

1. 全てに対し、「**普遍性のある必要**」を追究する
 - (1) 世界中のあらゆる人々が持つ普遍的な欲求や必要を的確にとらえ、事業として需要を創造します。
 - (2) 常識や固定観念、過去の延長思考から脱却し、常に新しい視点から物事を考えます。
 - (3) 人のまねをせず、常に独創性のある考え方を貫きます。

2. 全てに対し、「**あるべき姿**」を描く

- (1) 既成概念にとらわれず、将来の最良の姿(あるべき姿)を描きます。
- (2) あるべき姿から発想し、これを実現させる方法を創造します。
- (3) あるべき姿を常に心に描き、強い意志を持って実現に努めます。

3. 全てに対し、「**挑戦する意志**」を貫く

- (1) 何事にも常に高い志を持ち、妥協することなく挑戦し続けます。
- (2) 勤に頼らず感情に溺れず、物事を論理的に考え、実行計画は大胆かつ綿密に描きます。
- (3) 挑戦した結果につき成否について、その要因を徹底的に検証し、さらなる挑戦につなげます。

第2章 私たちは、社会に役立ち、人々に喜びと感動を提供します。

1. 人々に、「**無限の感動**」を提供する
 - (1) 常にお客様の立場に立って、お客様の視点で物事を考えるという顧客志向の姿勢を貫きます。
 - (2) お客様の期待をはるかに超えた商品やサービスを提供し、「満足」を超えた「感動」をもたらすことを強く意識します。
 - (3) お客様の声を常に大切に、そこに新たな価値創造を結びつけることにより、社会に貢献します。

2. 人々と、「**豊かな生活**」をわかちあう

- (1) 「かけがえのない地球資源と環境」に配慮し、環境負荷の低減を第一義に考えた企業活動を推進します。
- (2) 豊かな生活や便利なビジネス社会を実現する商品やサービスを適正な価格で人々に提供し続けるよう努めます。
- (3) カシオ独自のコア技術やノウハウを最大限活用し、カシオらしさが脈々と伝わる仕事で人々の生活向上に貢献していきます。

3. 人々と、「**尊敬と信頼**」の絆を育む

- (1) 自己の利益だけを優先せず、常に「ギブ・アンド・テイクの精神」に立ち、関係する方々とお互いの立場を理解し、尊重し、共に成長・発展していくことを心がけます。
- (2) 企業情報の誠実な開示と発信を行い、迅速で的確な対応を行います。
- (3) カシオグループで働く全社員が相互に「尊敬と信頼」を持ち、「CASIO」ブランドに誇りを持ち、誠意ある行動をとります。

第3章 私たちは、プロフェッショナルとして、常に誠実で責任ある言動を貫きます。

1. 全ての言動に対し、「**規則・法律に基づき**」責任ある態度を貫く

- (1) 事業活動の推進にあたって、関連する社内外のあらゆる規則・法律を遵守し、かつ誠意を持って履行します。
- (2) 企業人として、また一市民としても「CASIO」ブランドを支える一員として責任ある言動を貫きます。
- (3) 常に物事の善悪をわきまえ、自らの良心に従い、正しい判断のもとに行動します。

2. 各々の役割に対し、「**結果・成果**」の責任を執る

- (1) 自己並びに組織のミッションを明確にして、その使命及び役割に徹した仕事を進めます。
- (2) 自らの行動に対しては常に責任を持ち、自己の責任を放棄したり、他人に責任を転嫁しません。
- (3) 自己の行動の結果と発生する責任を素直に受け入れ、経験として次の仕事に活かします。

3. 全ての仕事に対し、「**毎日改善**」に努める

- (1) 自己の変革と進化に努め、日々のスキルアップを心がけ、自的努力を怠りません。
- (2) “何故” “どうして”を自問自答し、常に問題意識を持ち、改善に努めます。
- (3) 自己の責任を全うするとともに、全体最適の視点にも立ち、日々の改善に向けて打つべき手を常に考え、プロ社員としての仕事を進めます。

※ 普遍性のある必要を創造
誰にとっても必要でありながら、まだ世の中になかったものを、新たに生み出すこと。これは製品開発のみならず、すべての業務においてカシオが追求すべきものです。

CSR推進体制

カシオは「カシオ創造憲章 行動指針」に基づき、全社的なCSR活動の基本方針や重要事項を審議するために、社長を委員長とし、取締役・監査役で構成する「CSR委員会」を設置しています。同時に専任部署として「CSR推進室」を設置し、全社的なリスク管理体制の整備等、内部統制の強化に取り組

んでいます。

情報開示については、株主や投資家の皆様、その他のステークホルダーの皆様にも、四半期毎の決算説明会や事業報告書による情報開示を行っています。また、年度毎に発行するコーポレートレポートにより、包括的なCSR活動結果の報告を行うと共に、ホームページを通じて迅速かつ正確な情報提供に努めています。